

【第3回審議会からの変更における視点】

- ・本計画自体を、市長公約の最大の柱である「健幸まちづくり」の取り組みをより一層進めるための基本計画と位置づけた。
- ・「重要テーマ」の表記のレベル感を統一した。(「重要テーマ」を踏まえ、今後政策・施策の検討を行っていくため、具体的過ぎる表現等を調整)
- ・選択と集中の視点から、より上位の概念である「健幸まちづくり」の視点を踏まえながら、「基本的な考え方3」の内容を、「地域域力の強化(世代を超えた担い手、人材の育成)、まちの活力」の取り組みに注力する構成と改めた。

※第3回審議会時点(平成30年7月25日)

持続可能なまちづくり

全体に関わる考え方

- SDGsの考え方の取り込み ●シビックプライド醸成 ●グローバルな視点での魅力向上策 ●情報発信とPR
- シティセールスの推進による、来街促進・定住人口増加 ○まちを愛する心=シビックプライドの醸成
- 市民の目線に立った組織づくり・人財育成

1. 超高齢社会への対応、健幸都市(スマートウェルネスシティ)

<input type="checkbox"/> 健康長寿社会の実現(健康づくり、医療・介護等)	
1	●高齢者が健康で生き生きと生活できるまちづくり(健康増進)
2	○TAMAフレイル予防プロジェクト
3	●地域医療体制(病院、在宅医療)の整備
4	○医療・介護連携、生活支援サービス・支え合い体制整備
<input type="checkbox"/> 支え合いの地域づくり	
5	●高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち
6	●介助ボランティア拡大
7	健幸都市・健幸まちづくりの推進
8	ひとりでも幸せに暮らすことができるまち
9	●障害者差別解消法への対応
10	○(仮称)障がい者差別解消条例の制定
11	●共助・互助できる仕組みづくり
12	●「誰もが支え手」の地域づくり
13	●高齢者の居場所づくり、永山モデル継続
14	●高齢者への法的支援の仕組みづくり
<input type="checkbox"/> 交通	
15	●高齢者の移動支援

2. 若い世代の呼び込み、人口バランスの維持

<input type="checkbox"/> 子育て・教育	
1	○子育て世代を応援するまちづくり
2	●子育て世代への魅力ある環境・支援策のPR
3	●保育園の充実・待機児童解消
4	●高齢者を活かした地域での子育て支援
5	●子育て中の保護者が孤立しない仕組みづくり
6	●子育てに関する生きた情報の発信強化
7	●子育て用品のシェアリング制度
8	●子育て世代に魅力ある独自の子ども・子育て支援や独自の教育(ESD、英語)とそのPR
9	○持続発展教育・ESDの推進
10	○地域未来塾、国際理解、英語教育の充実
11	●子どもたちの地域活動について学習・参加する機会の確保
12	●市内小中学校における学校支援の仕組みの設置数増加
13	●子どもの居場所づくり
14	●子どもの貧困対策
15	●不登校児童・生徒への支援強化
16	○(仮称)子ども・若者総合支援条例の制定
<input type="checkbox"/> 産業	
17	●職住近接のまちづくり
<input type="checkbox"/> 住環境	
18	●豊かな住環境の確保による子育て世代流入促進
19	●一斉高齢化を避けられるまちの形

※市民ワークショップ時点(平成30年8月4日、11日)

「健幸まちづくり」のさらなる拡充に向けて

全体に関わる考え方

- SDGsの考え方の取り組み シビックプライド醸成 グローバルな視点での魅力度向上 情報発信とPR
- シティセールスの推進による来街促進・定住人口増加 まちを愛する心=シビックプライドの醸成
- 市民目線に立った組織づくり・人財育成 財政の安定化 「ひとり」でも幸せに暮らすことのできるまち

1. 超高齢社会への対応

<input type="checkbox"/> 健康長寿社会の実現	
1	誰もがいきいきと生活できるための健康づくり活動の支援
2	介護予防・フレイル予防の実践
<input type="checkbox"/> 支え合いの地域づくり	
3	地域医療・介護体制を支える仕組みづくり
4	「誰もが支え手」の地域づくり
5	高齢者の居場所づくり
6	身近な地域で相談することができる場・体制づくり
<input type="checkbox"/> 交通	
7	高齢者の移動・出歩き支援
<input type="checkbox"/> 住宅・環境	
8	住み替え支援・居住支援

2. 若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるためのまちづくり

<input type="checkbox"/> 子育て・教育	
1	保育環境の充実・待機児童解消
2	地域での子育て・教育を支援する体制整備
3	市独自の子ども・子育て支援や教育の推進
4	支援を必要とする子ども・若者へのサポート・体制づくり
<input type="checkbox"/> 住宅・環境	
5	緑豊かで子育て世代にやさしい住環境の維持・向上
<input type="checkbox"/> 若者世代の呼び込み・定住促進	
6	若者世代・子育て世代の暮らしのニーズを満たす賑わいあるまちづくり
7	多摩で育った若者が住み続けたい・戻ってきたいと思うまちづくり
8	若者世代・子育て世代の声をまちづくりに反映させる仕組みづくり

3. 誰もが生き生きと活力ある地域づくり	
<b>□ コミュニティ</b>	
1	●コミュニティ活動の担い手確保や人材養成
2	○多摩市若者会議(若い世代の声を市政に反映)
3	●高齢者が健康で生き生きと生活できるまちづくり(高齢者の市民活動への参画)
4	●若者と高齢者の交流促進
5	●行政による地域の支援体制構築
6	○職員が地域に入って、パイプ役を果たす仕組みづくり
7	○多摩市の実情に合った地域の自治の仕組みづくり
<b>□ 拠点・新しいまちづくり</b>	
8	●まちの拠点づくり(交流拠点、知の拠点)
9	○多摩センターエリア一体の魅力創出
10	○聖蹟桜ヶ丘の賑わいづくり
11	○オンリーワンの知の地域創造の拠点づくり
12	●「ふるさと多摩」についての整理
13	●交通網整備の機会を捉えた企業誘致
14	●○多摩ニュータウン再生
15	○住み替え支援・居住支援
<b>□ 多様性の尊重される社会づくり</b>	
16	○地域で活躍する女性の視点を市政に反映
17	○性的マイノリティへの配慮
18	○「非核平和都市宣言」をベースにしたまちづくり
<b>□ 産業</b>	
19	●個性と魅力ある商店街づくり
20	●商工業の発展による健全財政の維持
—	●職住近接のまちづくり(再掲)
21	●特色ある農を通じたまちづくり
22	○多摩市ならではの特色をもった農業振興
<b>□ 防災</b>	
23	○地域防災力を高め、ソフト面でも震災などの自然災害にも強いまちづくり
<b>□ 住環境</b>	
24	●トータルで先進的な環境政策によるシティセールス
25	○人と環境に優しいエネルギーを大切にすまちづくり
—	●一斉高齢化を避けられるまちの形(再掲)
26	●交通利便性の適切なPR



3. 地域力の強化(世代を超えた担い手、人材の育成)、まちの活力	
<b>□ 地域のつながり</b>	
1	地域活動を市がトータルでバックアップする仕組みづくり
2	現役世代でも、働きながら地域活動に参画できる仕組みづくり
3	地域防災活動を通じた結びつきの強化
<b>□ まちの活力</b>	
4	多様性を尊重し、誰もがいきいきと活躍できるまちづくりの推進
5	若者、多世代の交流拠点づくり
6	駅周辺を中心とした個性と魅力のある商業拠点づくり
7	サービス産業を中心とした企業誘致
8	職住近接のまちづくり